

1. 公害防止対策

令和5年度 環境保全計画

(1) 公害防止の目標

分野	項目	目標
水質汚濁防止対策		
水質汚濁防止対策	公共用水域の環境保全	下水道法及び神戸市下水道条例等に基づき、除外施設の適性な維持管理、排除基準の遵守、排水の水質測定等を行う。又、各種報告は関係法令の規定に基づき実施する。
その他の対策		
騒音防止対策	法令等基準の遵守	法令等の基準遵守の確認に必要な測定、監視体制を定め、基準を遵守する。
	周辺地域の環境基準の達成と維持の配慮	発生源対策として、防音カバーの設置、吸音材の設置等を必要により実施する。
振動防止対策	法令等基準の遵守	法令等の基準遵守の確認に必要な測定、監視体制を定め、基準を遵守する。 発生源対策として、防音カバーの設置、吸音材の設置等を必要に応じ実施する。
悪臭防止対策	法令等基準の遵守	建屋又悪臭発生施設、製造工程の改善等を必要により行う。
		法令等の基準遵守の確認に必要な測定、監視体制を定め、基準を遵守する。
産業廃棄物対策	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の規制を遵守	産業廃棄物を委託処理する際には、法定の規定する産業廃棄物管理票マニフェスト制度を遵守する。
		特別管理産業廃棄物にあつては、法令の保管・処理・処理基準を遵守し、法定の記録・報告を実施する。
		神戸市産業廃棄物の多量排出事業者に係る処理計画作成に関する指導要綱に基づき、産業廃棄物の再生利用、再資源化等の有効利用及び減量化に努め、要綱の規定に従い、処理計画の策定や報告を行う

2. 環境保全活動

令和5年度 環境保全計画

(1)環境保全活動目標(目標年次令和7年)

	分野	項目	目標	
1	工場内等での 節電、節水	電気使用量の削減	H2年比	5%減
		水使用量の削減	H2年比	5%減
2	工場内等での 廃棄物の適正 処理、減量	空缶、空瓶、紙等の分別回収	徹底	100%
		不要用紙の裏面使用による減量	H2年度	維持
		廃棄物発生量	H2年比	5%減
3	工場内等での 発生製品等の 利用	再生紙の使用拡大	H2年度	維持
		充電機等の利用	徹底	継続
		廃棄物の再生化	H2年度	維持
4	環境負荷の少 ない資源、材料 燃料の選択	紙製品の拡大	H2年度	維持
		クリーン電力の使用 CO2削減 目標令和10年、令和5年度比20%削減	令和5年度	検討
		リサイクル紙等の採用	H2年比	10%拡大
		合理化 リサイクル瓶の使用拡大	H2年比	10%拡大
5	物流の合理化	積載効率の高いトラック利用	2年度比増	
		協同配送の実施	2年度比増	
6	特定フロン等 使用量の削減	代替フロンへの転換	全量	
		設備更新時に特定フロン非使用を導入	全量	
		特定フロン使用機器の適正廃棄	フロン回収の徹底	
7	省エネ、省資源に資 する生産技術の採用	工場排水の減量	H2年比	維持
		冷凍機の効率運転 高圧管理の徹底で電気量削減	H2年比	維持
		冷房効率アップ 省エネ機器の導入で電気量削減	H2年比	維持
8	従業員教育	環境保全に関する安全大会	40人/年	
		全体集会	月1回	
		安全衛生委員会、FSSC活動	月1回	
9	地域社会への 参画	街造り計画に参画	月1回	
		事業場周辺の清掃活動	周1回	

(2) その他の対策

令和5年度 環境保全計画

分野	目標項目	達成状況
騒音防止 対策	法令等基準の遵守	法令等の基準遵守の確認に必要な 年1回、測定を生産ライン毎に行い基準値を超える場 所の対策
	周辺地域の環境基準の 達成と維持の配慮	周辺地域ポイントにより騒音測定実施 対策 法的基準内を確認
振動防止 対策 工場照明 対策	法令等基準の遵守 騒音、振動機器の、監 視体制の強化 法の基準照明の整備	法令等の基準遵守の確認に必要な 測定、監視体制を定め、基準を遵守する 吸収式冷凍機9月に復活、電気量を監視し、適正運 転を図る。 照明器具のLED化
悪臭防止 対策	法令等基準の遵守	測定、監視体制を定め、基準を遵守 する。 建屋又悪臭発生施設、製造工程の 改善等を必要により行う。
産業廃棄物 対策	廃棄物の処理及び清 掃に関する法律等の規 制を遵守	産業廃棄物を委託処理する際には、 法定の規定する産業廃棄物管理票 マニフェスト制度を遵守する。
		特別管理産業廃棄物にあつては、法令 の保管・処理・処理基準を遵守し、法定 の記録・報告を実施する。
		神戸市産業廃棄物の多量排出事業者 に係る処理計画作成に関する指導要 綱に基づき、産業廃棄物の再生利用 再資源化等の有効利用及び減量化に 努め、要綱の規定に従い、処理計画の 策定や報告を行う。

3. 令和5年度 環境保全計画(活動項目)

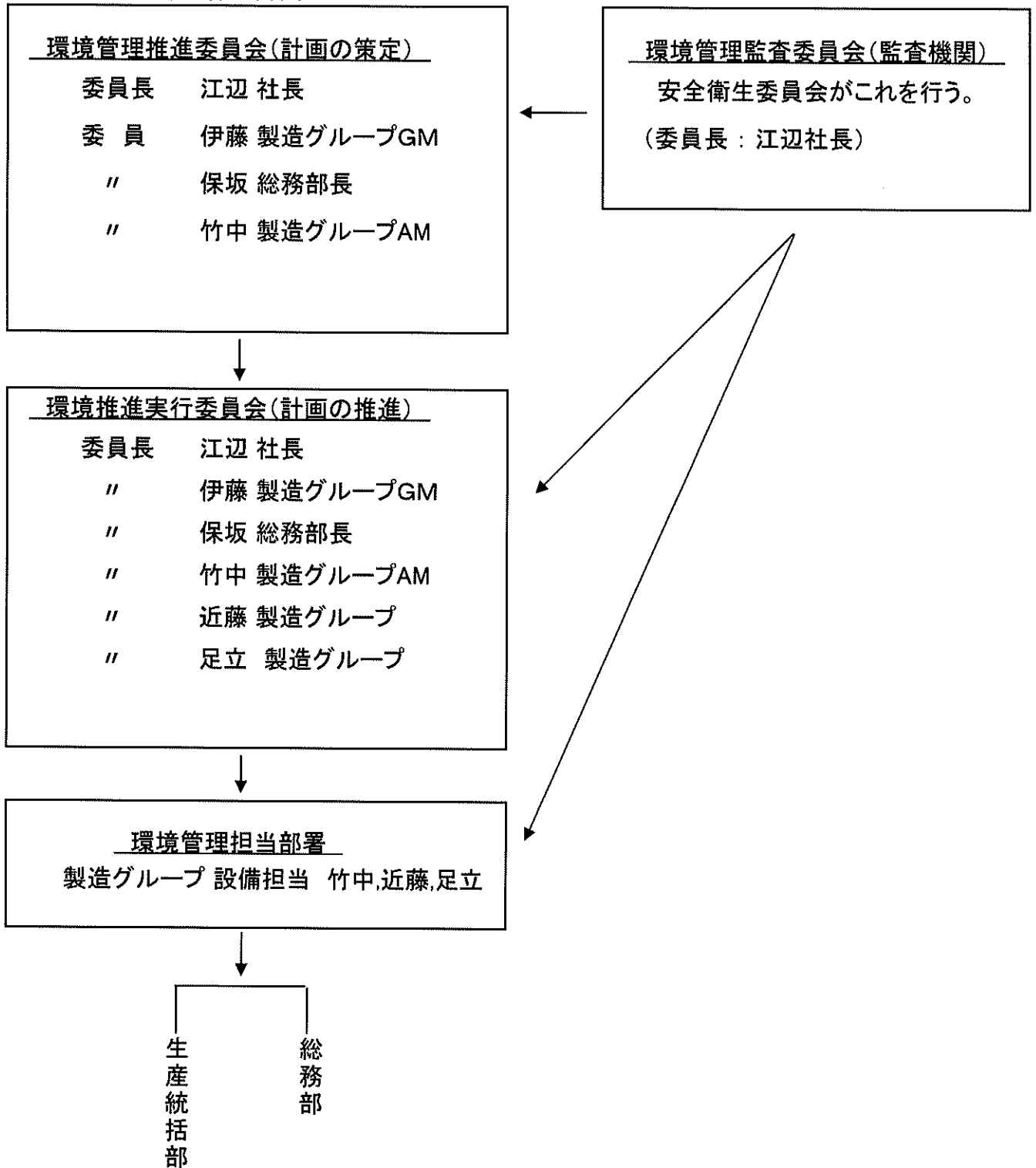
	分野	項目	細目	目標
1	事務所 工場での節電、節水	節電	法基準改正による照度の見直し	令和10年までに見直し計画を実行
		クールビズの実施	冷房の適正化	夏季28度 冬季18度徹底
			蛍光灯交換時のLED化	蛍光灯交換時のLED化
			節水	漏水箇所 0
2	事務所 工場での廃棄物の適正処理、減量	空缶、空瓶、紙等の分別回収	実績の明確化、責任の明確化	社内での開示
		コピー用紙の使用削減	不要用紙の裏面使用	社内での開示での徹底
		廃棄物発生量削減	製品返品削減	前年比マイナス
			廃棄物の減量とリサイクル化	リサイクル化90%以上
3	事務所 工場での再生製品等の利用	再生コピー用紙の使用	文房具、機械器具、備品	H2年度維持
		充電機等の利用		推進継続
4	環境負荷の少ない資源、材料、燃料の選択	廃棄物の減量	分別廃棄の徹底	推進継続
				リサイクル化90%以上
		CO削減	クリーン電力の購入計画	2030年全量
5	物流の合理化	積載効率の高いトラック利用		引き続き継続
		協同配送の実施	グループ内で推進	引き続き継続
6	冷媒R22フロン対策	代替フロンへの転換	1貯蔵庫空調機更新	令和10年までに、R-22使用機器の更新
		設備更新時に特定フロン	フロン、R-22機器の代替え	
		フロン非使用を導入		
7	製品ラインの整備	製品ラインの効率化	製品の委託生産による生産効率の向上	2交代勤務により生産効率向上
	省エネ、省資源化に寄与する	資材の減量、エネルギーの削減	原料処理施設の合理化	推進継続
	新しい生産技術の採用	エネルギーの減量	省エネ活動	製品ラインのアイドル時間の短縮
8	環境に配慮した施設整備	緑地の整備	酒蔵周辺	引き続き継続
		酒蔵の街をイメージした	酒蔵周辺	引き続き継続
9	従業員教育	環境保全に関する社員研修	安全大会	年1回
		全体集会	安全意識の向上	月1回
		品質管理 FSSC活動の推進	次のステップの乗り切り推進	品質管理の再構築
		安全衛生委員会		月1回
10	地域社会への参画	街づくり計画に参画	地域街づくり委員会で検討	月1回

4. 令和4年度 環境保全活動状況

	分野	活動項目	細目	令和4年度報告	28年度目標に対する達成度
1	工場 事務所等での節電、節水	節電	休み時間等に消灯	徹底	100%
			冷房の適正化	夏季28度、冬季18度	100%
			省電力電灯への切替	交換時LED器具に切替50本	100%
		節水	節水の啓発	随時	100%
2	工場 事務所等での廃棄物の適正処理、減量化	分別回収	空缶、紙類の回収	徹底	100%
		コピー紙使用の削減	両面コピーの推進	徹底	100%
		廃棄物発生量の削減	生産トラブルの削減生産性向上	2021年対比10%削減	100%
		植物性残渣の飼料化		全量	100%
3	工場 事務所等での発生備品の利用対策	グリーン購入の実施	文房具、機械器具、備品	徹底可能な限り	0%
		再生コピー用紙の使用		全量	100%
		充電池等の利用		推進	70%
4	環境負荷の少ない資源、材料燃料の選択	廃棄物の減量	分別廃棄の徹底	H30年度比10%削減	0%
				残渣のリサイクル	100%
				廃プラのリサイクル	50%
				分別強化でスクラップのリサイクル	100%
5	物流の合理化	積載効率の高いトラック利用	積載効率の高いトラック利用	随時実施	100%
		共同配送の実施	共同配送の実施	随時実施	100%
6	特定フロン対策	代替フロンへの転換	設備更新時に特定フロン	新フロン法による点検の強化	100%
				第一貯蔵庫空調機新フロンタイプ更新	100%
7	省エネ、省資源化に寄与する	省エネ機器の導入	最大電力契約628KVA維持	契約維持のためデマンドコントロール導入	100%
		就業時間の変更	生産性の向上	2交代勤務継続	100%
	生産技術の採用	電気使用量 15%削減	省エネ活動	空調機のタイマー運転による夜間運転、昼間停止	100%
8	環境に配慮した施設整備	緑地の整備	酒蔵周辺の整備	週1回掃除実施	推進中
		酒蔵の街をイメージした	酒蔵を想定した建築物の整備		100%
		騒音対策	工場内外騒音測定	法基準を順守	100%
9	従業員教育	環境保全に関する社員研修	全体集会、安全大会の開催	月1回	100%
		品質管理	FSSCのランクアップの構築	2024年度よりバージョン5より6に上げ	100%
10	地域社会への参画	街づくり計画に参画	西郷会で具体案検討	月1回	100%
		事業場周辺の清掃活動	安全パトロール	週1回の工場まわりのクリーンデイの推進	100%

5. 令和5年度環境管理体制

令和5年度 環境保全計画



エネルギー使用量の推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
上水道(t)	16,512	11,996	4,115	5,018	6,513	6,245	9,147
醸造用水(t)	24,753	23,952	15,013	15,011	23,475	23,843	18,393
工業用水(t)	73,497	59,343	59,343	39,939	78,435	44,877	40,250
井戸水(t)	1,721	0	65	1,115	1,826	1,278	2,771
合計(t)	116,483	95,291	78,536	61,083	110,249	76,243	70,561
蒸気(t)	6,947	6,594	3,385	4,536	3,318	6,046	3,404
電力量(百kw)	33,977	35,127	34,706	24,847	28,184	27,744	26,356

